

高まる全国協議会への期待

—総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)—

1. スポーツ立国戦略での位置づけ

先月、文部科学省が公表した「スポーツ立国戦略」では、総合型地域スポーツクラブ(以下「総合型クラブ」)を中心とした地域スポーツ環境の整備が位置づけられ、総合型クラブの担う役割は、ますます重要となると思われます。身近なスポーツ活動の場の提供のみならず、国が掲げる「新しい公共」を担うコミュニティの拠点として、スポーツ活動を通じた地域の課題解決等を推進していくことも総合型クラブには期待されています。既に全国の総合型クラブの中には、地域課題解決を実現しているクラブも多いと思いますが、今後は、地域に根ざした活動をより意識して行っていくことが重要ではないでしょうか。

また、全国の総合型クラブは、2010年7月1日付(文部科学省調査)で、3,114クラブ(準備中も含む)が活動しています。2000年に策定された国のスポーツ振興基本計画では、10年間で全国の各市区町村に最低1つは総合型クラブを創設することが目標となっており、現在、全国1,750市区町村中71.4%の1,249市区町村において、創設済または準備中となっています。

総合型クラブがこれからの地域のスポーツ環境の中心として今まで以上に期待されているとともに、それらを繋ぐネットワークとしてSC全国ネットワークや各都道府県の総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の役割も大切になってくるのではないかと思います。

2. 岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の活動

岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会は県内で活動する総合型クラブと支援団体(岩手県教育委員会、財団法人岩手県体育協会、岩手大学スポーツユニオン)が連携して、SC全国ネットワークに先駆けて平成21年1月22日に設立しました。その活動概要についてご紹介いたします。

今年度は「岩手県総合型地域スポーツクラブ運営研修会」、「NPO法人モンテリオール会バレーボール教室」、「リスクマネジメント研修会」を開催しており、その中では、スポーツ指導者講習会(コーディネーショントレーニング、けが予防法、スポーツ栄養学)や県内外総合型クラブの事例発表、グループ協議などを行っています。各クラブの現状認識やクラブ運営・組織体制等について幅広く情報交換することができ、クラブの資質向上とクラブ間の連携が深まることを期待しており、今後とも県内の総合型クラブの活動支援や社会的認知度の向上、広報活動に取り組んで参ります。



NPO法人モンテリオール会バレーボール教室において五輪金メダルに触れる子ども達



岩手県総合型地域スポーツクラブ運営研修会に多くの方々に参加いただきました